

**公益財団法人**  
**「e-とくしま推進財団」基本指針**

平成 26 年 11 月策定

令和元年5月改訂

## 目次

1	策定趣旨	1
2	推進期間	1
3	基本指針の位置づけ	1
4	基本理念	2
5	目指すべき針路	2
6	基本指針の体系図	3
7	重点事業	4
8	推進体制	8

## 参考資料

	用語解説	9
--	------	---

## 1 策定趣旨

「eーとくしま推進財団」は、県民だれもが、ICT\*（情報通信技術）の利便性を享受し、ICTを暮らしに活かし、個人が、地域が、産業が活力あふれ、県全体がいきいきとした徳島の実現を積極的に進める役割を担う母体として平成17年2月に設立され、産・学・民・官と協働し、地域情報化の推進に取り組んできました。

この14年間、県と連携し、「eーとくしま推進プラン」及び「ICTとくしま創造戦略」を推進するとともに、賛助会員の方々の支援・協力を受け、徳島の暮らしの窓口ともいべき「とくしまポータル」の運営、家庭・地域との連携を図る「小・中学校ホームページシステム化支援」などをはじめとする地域貢献事業、普及啓発事業や人材育成事業が、財団事業として定着し、財団ブランドとして確立されているところです。

現在、本県は、急速な少子・高齢化、過疎化の進行など、全国に先駆けて様々な地域課題に直面しています。

一方、進展が著しいICTは、スマートフォンなどの普及によるモバイル化の進展、ソーシャルメディア\*利用者の急増など、新たな技術開発やサービスの提供により、日常生活に深く浸透するとともに、様々な課題を解決するツールとして期待されています。

このたび、「eーとくしま推進財団」基本指針を改訂し、これまで築き上げてきた蓄積を基に、ICTを課題解決のツールとして、効果的・積極的な利活用を、より一層推進します。

## 2 推進期間

平成26年度から令和2年度までの7年間とします。

## 3 基本指針の位置づけ

この指針は、国のIT戦略「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」（平成30年6月15日閣議決定）に基づく徳島県の総合的なICT戦略である「ICTとくしま創造戦略」を受けた、「eーとくしま推進財団」の基本指針です。

「ICTとくしま創造戦略」の推進体制において、当財団は、県と連携し、ビジョンの達成に寄与するプロジェクトの推進と進捗管理の役割を担うとともに、今後、中期的に、地域に密着して、重点的に取り組むべき事業の方向性を示すものです。

## 4 基本理念

わたしたちの暮らしを、もっと豊かに、もっと便利にするため、  
ICTを課題解決ツールとして、効果的・積極的に利活用し、  
ひと・まち・しごとが活力あふれる地域を創造する

## 5 目指すべき針路

基本理念を実現するため、次の3つの項目を柱として、利用者の視点に立った取組を積極的に推進します。

### (1) 普及啓発

～ICTの利便性について、多種・多様な普及啓発を図り、利活用を促進する～

日常生活や地域社会において、ICTを利活用することは、時間・場所の制約から解放された様々な活動が活発となり、地域の活性化につながります。

広く県民一般の方から、子どもやお年寄りまで、様々な年代や分野、地域の方に対して、セミナーや講座など多種・多様な普及啓発を行うことにより、ICTの利活用の促進を目指します。

### (2) 地域貢献

～ICTを利活用した地域の情報化を支援し、地域の活性化に貢献する～

ICTを利活用した地域の情報化を支援することは、地域の活性化につながります。地域の各種団体が、地域の課題解決に、ICTをツールとして利活用する取組を支援し連携することにより、地域社会の健全な発展を目指します。

また、県内自治体が行うICTを利活用した電子行政サービスの提供を支援し、住民サービスの向上と行政の効率化を目指します。

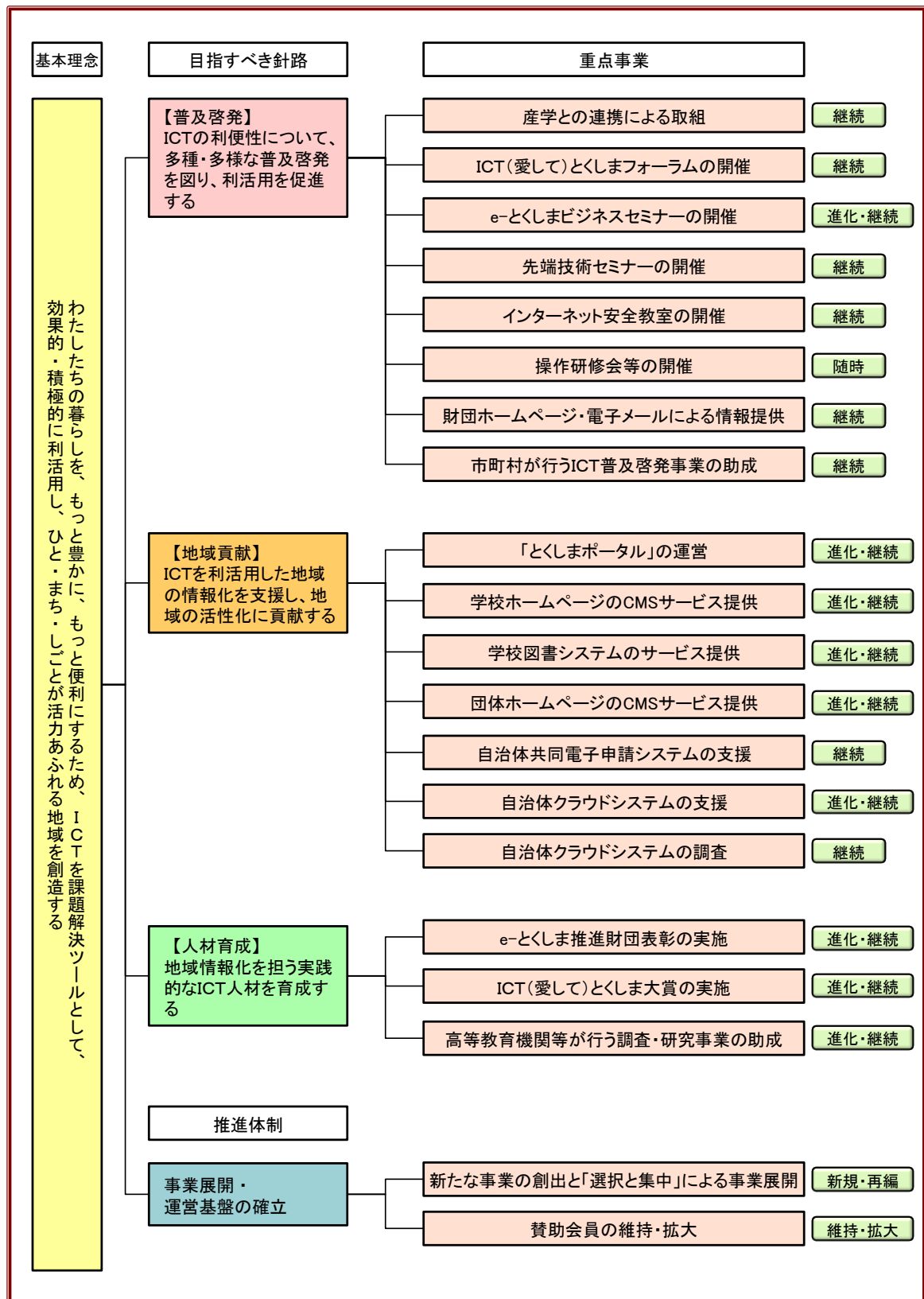
### (3) 人材育成

～地域情報化を担う実践的なICT人材を育成する～

ICT利活用社会を実現し、利便性や効率性を発揮するためには、ICT利活用の裾野拡大が不可欠であり、そのためには、ICT利活用社会をけん引する人材やそれを支える人材が必要です。

それぞれの世代や目的に応じて、ICT技術の進展に対応した取組を推進することにより、未来を切り拓く実践的なICT人材の育成を目指します。

## 6 基本指針の体系図



進化・継続 現在の事業規模を拡大し継続して実施      継続 現在の事業規模を維持し継続して実施      随時 補正予算等に応じて実施

(1) 普及啓発

～ I C Tの利便性について、多種・多様な普及啓発を図り、利活用を促進する～

① 産学との連携による取組

「産・学」、「学・学」の交流創出を図り、企業や教育機関が連携して県内の情報化に取り組む糸口、また、将来を担う学生・生徒に、I C Tが持つ先進性や利便性に触れる機会を提供するため、賛助会員の企業や大学等が有する最先端技術などを紹介する出前授業を開催します。

② I C T(愛して)とくしまフォーラムの開催

I C Tの利便性と利活用効果について、県民の方の理解を深めるため、県と共催し、セミナーやパネルディスカッションなどを開催します。

③ e-とくしまビジネスセミナーの開催

I C Tをツールとして利活用し、企業活動に活かすことが益々重要性を増す中、企業におけるI C Tの利活用を促進するため、企業経営層を対象に、企業経営の参考となるセミナーを開催します。

④ 先端技術セミナーの開催

I C T分野では、常に新しい技術が開発されており、I C Tの技術面からセミナーなどを開催しI C Tをさらに利活用する契機とするため、I C Tの先端技術についての専門的なセミナーを開催します。

⑤ インターネット安全教室の開催

インターネットや携帯情報端末の利用が小学校低学年の児童にまで広がりを見せる中、教職員・保護者・児童生徒等に対し、その危険性への理解を深め、個人情報の漏洩や犯罪に巻き込まれることを防ぐため、情報モラル\*についての研修会を開催します。

⑥ 操作研修会等の開催

パソコンなど情報通信機器に触れる機会の少ない人が、I C Tの利便性を体験し利活用の促進につなげるため、各種団体からの要請により、インターネットなどの実機操作やI C Tの利活用方法についての研修会などを開催します。

**⑦ 財団ホームページ・電子メールによる情報提供**

国、地方自治体や各種団体が実施する I C Tに係るイベントや助成事業の紹介など最新の情報や動向等を随時情報提供します。

**⑧ 市町村が行う I C T普及啓発事業の助成**

広く県民の皆様の I C T社会への参加を促すため、徳島県内の市町村が行う I C T利活用・普及啓発のための新たな取り組みに対し、助成金を交付します。

## (2) 地域貢献

～ I C T を利活用した地域の情報化を支援し、地域の活性化に貢献する～

### ① 「とくしまポータル」の運営

県民の方の情報交流の活性化や利便性の向上を図るため、インターネット上に発信されている徳島のイベント・募集・ニュース・暮らしの情報を集約・発信するサイト\*「とくしまポータル」を運営します。

また、地域の情報発信力の向上を図るため、「とくしまポータル」で小規模なNPO団体などの情報発信を支援します。

### ② 学校ホームページのCMSサービス提供

公立小・中学校等において、保護者や地域住民との連携強化を図るため、簡単な操作で情報の登録などの管理ができるCMS\*（コンテンツ・マネージメント・システム）サービスを提供し、ホームページの運営を支援します。

### ③ 学校図書システムのサービス提供

公立小・中学校において、生徒等による学校図書室運営の利便性向上を図るため、学校図書システムのサービスを提供し、業務効率化による負担軽減を支援します。

### ④ 団体ホームページのCMSサービス提供

情報発信力向上を図るため、地域の課題解決などに取り組む賛助会員である公益的団体に対し、学校ホームページと同様のCMSサービスを提供し、ホームページの運営を支援します。

### ⑤ 自治体共同電子申請システムの支援

住民サービスの向上を図るため、県・市町村が県民や住民に対して提供しているインターネットを利用した電子申請システム\*の支援を行います。

### ⑥ 県・市町村の共同利用システムの支援

行政運営の効率化を図るため、県内自治体が共同利用するシステムとして、大容量ファイルを安全に送受信できる文書管理（文書交換）システム等の支援を行います。

### ⑦ 自治体クラウドシステム\*の調査

行政運営の効率化を図るため、共同利用型システムの利用拡大の検討、既存システムの活用や情報セキュリティの向上に関する検討を行います。



### (3) 人材育成

～地域情報化を担う実践的なICT人材を育成する～

#### ① e-とくしま推進財団表彰の実施

実践的なICT人材の育成を図るため、県内の高等教育機関等に在籍する個人や団体を対象に、ICTを利活用した地域社会貢献への取組やICTの新たな利活用方法の開発など優秀な業績に対して表彰を行います。

また、保護者や地域住民への積極的な情報発信を促進するため、ホームページの運営が優れ他校の模範となる県内の公立小・中学校を表彰します。

#### ② ICT(愛して)とくしま大賞の実施

デジタルコンテンツ\*産業を担う優秀な人材を育てるとともに、本県が誇る「自然・食・文化」などの魅力を全国に発信するため、県、(公財)とくしま産業振興機構などと共催し、優れた動画、アニメやアプリケーションなどのデジタルコンテンツ作品を募集し、将来性のある学生の作品を表彰します。

#### ③ 高等教育機関等が行う調査・研究事業の助成

実践的なICT人材の育成を図るため、県内の高等教育機関等が行う地域の課題解決につながるICTに係る調査・研究や地域活性化に貢献するICTを利活用した地域での取組などの事業に助成します。

### (1) 体制・運営手法

当財団は、県、教育委員会、市町村や民間など異なる分野の職員で構成されています。それぞれが、これまで培ってきた知識・経験を結集して、利用者の視点に立った事業の遂行に努めます。

また、常に、ICTの進展や社会の変化に柔軟に対応し、様々な形で個人、地域や産業との交流・連携に努めるとともに、賛助会員の方々の提言等を傾聴し、新たな事業を創出します。

そして、限られた経営資源を最大限に、無駄なく投下し、最大の効果を挙げる「選択と集中」により、事業の継続・展開を図ります。

### (2) 運営基盤の確立

当財団が、自立した団体として事業の継続・展開を図るには、賛助会員の方々の支援・協力が必要不可欠です。

常に、既会員の方々との結びつきを大切に保つとともに、新規会員の獲得に努め、賛助会員を維持・拡大し、運営基盤の確立を図ります。

## 参考資料

### 用語解説（アルファベット・50音順）

#### ■ CMS（コンテンツ・マネージメント・システム）

ホームページを構成するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理し、専門的な知識を学習することなく、誰でも簡単にホームページを更新・管理することができる大変便利なシステム。

#### ■ ICT（Information and Communication Technology）

情報通信技術といい、情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称。日本ではすでに一般的となったIT(情報技術)の概念をさらに一歩進め、情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。

#### ■ サイト

ウェブサイトと呼ぶこともあり、一般にインターネット上にあるひとまとまりの文書のことを表す。日本では「ホームページ」とも呼ばれる。

#### ■ 自治体クラウドシステム

自治体クラウドは、近年様々な分野で活用が進んでいるクラウドコンピューティング技術を電子自治体の基盤構築にも活用して、地方公共団体の情報システムの集約と共同利用を進めることにより、情報システムに係る経費の削減や可用性の確保、住民サービスの向上等を図るもの。

#### ■ 情報モラル

情報倫理やネチケットなどの倫理的な態度に加えて、個人情報の保護やなりすましの危険から身を守るなど危険回避の方法の理解やセキュリティの知識などが含まれる。

#### ■ ソーシャルメディア

ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)、動画共有サイトなど利用者が情報を発信し、形成していくメディアをいう。利用者同士のつながりを促進する様々なしながけが用意されており、互いの関係を視覚的に把握できるのが特徴。

#### ■ デジタルコンテンツ

デジタルデータで表現された文章、音楽、画像、映像、データベースまたはそれらを組み合わせた情報の集合のこと。それらを再生するためのソフトウェアを含むこともある。

#### ■ 電子申請システム

窓口で紙によって行われていた申請や届出などの行政手続を、インターネットを利用して自宅や会社のパソコンを使って行えるよう、徳島県及び県内市町村が共同利用により住民等に提供しているシステム。